

## 民間園ヒアリング調査の結果について

### 1 ヒアリングの概要

調査対象施設	山東地域民間園（長岡学園、大原保育園、柏原こども園）
ヒアリング日時・場所	日時：令和3年11月29日（月）14時から15時23分まで 場所：山東支所2AB会議室
ヒアリング内容	設定した日時に、これまでの検討委員会での審議の経過を報告し、3園長から以下の意見をヒアリング ・これまでの検討委員会での審議について ・米原市の幼稚園の今後の在り方について

### 2 ヒアリング調査の結果

#### ○これまでの検討委員会での審議について

- ➡ この問題は、人口減少、子どもの数が今後減って行くということ、財源は無尽蔵ではないということを中心とした視点が重要
- ➡ 山東幼稚園設立時にも少子化が進んでいる状況で、大金を投じて新たな幼稚園の設立が必要なのかという意見があった。その結果、今利用者が少ない状況にある。それをさらに財源も限られる中、税を投じて預かり時間を延長させた施設に変更することは同じことの繰り返しになるのではないだろうか。
- ➡ 特色ある教育・保育を行いたいのであれば、新たな幼稚園で実践するのではなく、私たちが研修を受けて実践して行く可能性もあるのでは。
- ➡ 雨漏れ等施設の状況を考えると今の在り方から変更することをあまり先に延長することは、子どもたちにとってよくないことなのではないだろうか。

○米原市の幼稚園の今後の在り方について

① 今後の幼稚園の在り方について

➡ 山東地域周辺に利用可能な園もある状況で税を投じて園を継続、改修することに市民から理解を示されるか疑問であり、教育・保育施設として継続することは難しいのではないだろうか。

➡ 通常保育以外の預かり保育を実施する状況から「幼稚園」と言える運営形態ではないのではないだろうか。

また、少子化が進む状況で今後も同じように税金を投入するのは単純にどうかと思う。同じ山東地域の山東西小学校と山東東小学校が統合されたことを考えると、保護者への丁寧な説明は必要になるが、教育・保育施設として山東幼稚園が継続することは難しいのではないか。

➡ 市がどう判断するかによるが、在籍人数が少なければ保育の内容に制限もあり、クラス運営が難しくなるのではないだろうか。また、通常保育以外の預かり保育を幼稚園で実施している状況からも幼稚園ではなく違う方向性も検討する必要があるのでは。

② ①の意見に対する各園の対応について

➡ 山東地域の民間園が地域の子どもたちの受皿を担うことも可能と考える。

➡ 地域の子どもたちの受皿は、山東地域に立地する民間園で担うことになるかと思う。改修は必要になるが、私どもの園でよければ、子どもたち受入れのために受皿を増やすことも検討する。

公立施設を希望する方がいるのであれば、いぶき認定こども園も利用を検討できる範囲にあるのではないだろうか。

➡ 今の保育園として受皿の協力はするが、施設面や保育士確保の難しさから、山東幼稚園の在り方により認定こども園として施設の運営形態を変更することを今は考えていない。

③ ①の意見に対する各園が考える施設の今後の活用方法について

- ➡ 周りの自然環境に恵まれているので、子どもの遊び場として子どもセンターのような施設もいいかと思う。また、民間に運営を委託するのがいいのであれば、付近のキャンプ場と一緒に施設を活用する方法も考えられる。
- ➡ 周囲は恵まれた環境ではあるので、雨の日でも活用できる子どもの遊び場、子どもセンターとして民間に運営を委託して活用してもいいのかもしれない。また公共施設として残すのであれば、多目的教育施設として部活動などの合宿所として活用も考えられる。
- ➡ もし、市が教育・保育施設として活用しないと判断するのであれば、市内の子育て世代向けアンケートで子どもの遊び場がないという意見を聞くので、天気が悪くても子どもたちが遊べる場所として活用されればと思う。



**※ 民間園ヒアリング調査結果**

- ・ 預かり保育を実施している状況からすでに「幼稚園」と呼ばれる運営形態ではない状況にある。今の在り方から違う方向性での検討が必要である。
- ・ 今後施設の具体的な在り方として、地域の少子化の状況、市の財源も無尽蔵ではない状況から、幼稚園の受皿を増やすことは適当ではないと考えられるため、教育・保育施設として継続するのではなく別の方向性として施設を活用することが必要と意見が伺えた。
- ・ 施設の活用方法として子どもの遊び場など多目的施設として活用し、地域の受皿としては既存の園が担い、今後の地域の教育・保育を提供する。